

# W a i - g a y a   s a l o n ' s   t r a c k s

第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日  
講師／佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日  
講師／久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー

第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日  
講師／鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日  
講師／清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日  
講師／虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日  
講師／竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日  
講師／木田 勇さん 信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日  
講師／荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力／「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日  
講師／松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究所 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ピオトーブ」／長野市をピオトーブネットワークシティに 平成19年11月14日  
講師／松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

第11回 簡単・おいしい・オシャレ／わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日  
講師／浜 このみさん クッキング・コーディネーター

第12回 あなたのからだは「蔡何年」ですか？ 平成20年7月14日  
講師／角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれ 一変化に対して前向きになることの大切さ 平成20年8月19日  
講師／針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日  
講師／水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野バルセロ ー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日  
講師／バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日  
講師／町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日  
講師／中山 修さん 中山法律事務所 弁護士

第18回 循環備蓄型の農業の実践 ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日  
講師／塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」平成21年7月14日  
講師／小出 陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表／信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化 ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日  
講師／宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役／木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく！ 平成21年11月24日  
講師／志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっこらしょ 代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日  
講師／薩川 了洋さん AC長野バルセロ新監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ～トチの実、雑穀、あんぼ～ 平成22年5月25日  
講師／石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日  
講師／新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日  
講師／越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表(株)システムックス所属

第26回 Go to J ～Jを長野に…いよいよ地域決勝大会！～ 平成22年10月25日  
講師／鈴木 政一さん 長野バルセロ・アスレチッククラブ強化本部長

第27回 グラントデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日  
講師／千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日  
講師／川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日  
講師／安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジスト ー茶 平成23年8月30日  
講師／マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日  
講師／井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日  
講師／田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役

第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日  
講師／飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営

第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日  
講師／相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭

第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日  
講師／小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務

第36回 すべてが一丸となって ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日  
講師／薩川 了洋さん AC長野バルセロ監督

第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日  
講師／小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員

第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日  
講師／塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役／(財)いのちの森文化財団 副代表理事

第39回 善光寺参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日  
講師／俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長

第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日  
講師／山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

第41回 自然との共生 平成25年2月28日  
講師／藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家

第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日  
講師／矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日  
講師／近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日  
講師／栗田 貞多男さん 写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日  
講師／鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス活用について 平成26年1月29日  
講師／天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野バルセロ ー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日  
講師／美濃部 直彦さん AC長野バルセロ監督

第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日  
講師／丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日  
講師／浅野 邦子さん 株式会社 箔一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に！～ 平成26年10月8日  
講師／平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日  
講師／本田 美登里さん AC長野バルセロ・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日  
講師／小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う！～地方の中規模企業が成功するための法則とは？～ 平成27年7月1日  
講師／廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ！ ～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日  
講師／羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力！ 平成27年10月8日  
講師／中島 麻希さん 1級フードアナリスト

第56回 摩訶不思議！長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日  
講師／齋藤 安彦さん 宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日  
講師／屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ～時代考証の舞台裏 平成28年7月2日  
講師／平山 優さん 歴史研究者

第59回 寺町商家の運営で気づいた\*食。の力 平成28年8月30日  
講師／西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー

第60回 地域から社会を変えよう！ 行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日  
講師／広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表

第61回 長野バルセロ ー今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日  
講師／浅野 哲也さん AC長野バルセロ監督

第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に！ 平成29年5月30日  
講師／中島 恵理さん 長野県副知事

第63回 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋／日本一美味しい飯山のお米 平成29年7月19日  
講師／服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー

第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ～行政の政策現場から見えるもの～ 平成29年8月23日  
講師／平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー (前松本市商工観光部長)

第65回 長野県を元気に！ メンタルヘルス(心の健康)からの大きなヒント！ 平成29年9月21日  
講師／野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師

第66回 陶芸の楽しみ 平成30年3月23日  
講師／愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長

第67回 話すって難しい？ 平成30年4月23日  
講師／坂橋 克明さん フリーパーソナリティー

第68回 中世善光寺如来堂東向き 平成30年7月5日  
講師／宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授

第69回 これからの長野における大学教育 ～人生100年時代の生き方と学び方～ 平成30年8月23日  
講師／金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長

第70回 広域景観から見た善光寺 ～山岳信仰と世界意識～ 平成30年9月26日  
講師／菅本 正治さん 長野県立歴史館 館長

第71回 劇場が街を変える 平成31年11月30日  
講師／山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人



**NUPRI**  
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人  
長野都市経営研究所

〒380-0834  
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F  
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166  
www.nupri.or.jp  
e-mail:nupri@nupri.or.jp

# W a i - g a y a   s a l o n   n e w s - l e t t e r

# わいがや サロン

# 通信

Vol. **72**  
2019.3

# A O V I V O

**NUPRI**  
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

# 出演：AO VIVO

座長／岩野 彰  
場所／NUPRI事務所  
3月11日(月) 18:00~20:20

2019年「わいがやサロン」の初回はこれまでの講演会形式とは異にして演奏会、それもジャズ・ライブです。初の試みに日頃はなかなか多忙な仕事場を抜けられない会員もかけつけ、弥生3月の月光の下、特設会場は熱気に包まれました。

### ●プロフィール

AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ) ポサノバ、ジャズを中心に演奏し、長野市内外の飲食店、ホール、イベント等に出演している。長野市、須坂市、飯綱町在住のメンバーそれぞれが仕事のかたわら積極的に演奏活動を行い、AO VIVOのほかさまざまなユニット、バンドに参加。

### ●メンバー紹介

- ♪ リーダー/ギター:竹内 浩一(たけうち こういち) 3次元系の測量を得意とする(有)フリースケールを起業し、代表取締役。
- ♪ サックス:中川 雅紀(なかがわ まさき) 日本郵便(株)牟礼郵便局勤務(局長)。ジャズ歴40年。
- ♪ ボーカル:山極'おーじ'優子(やまぎわ おーじ ゆうこ) 長野市三本柳児童センター勤務(児童支援員)。
- ♪ ドラムス:長谷川 裕晃(はせがわ ひろあき) (一社)須坂市文化振興事業団勤務(メセナホールの自主企画運営を担当し、市民・若者・子どもたちの音楽の裾野を広げてきた)。4月から長野市芸術館(長野市文化芸術振興財団)に。
- ♪ ベース:中田 寿寛(なかた としひろ) (株)ながのアド・ビューロ勤務(嘱託)。

### ジャズ・ライブ/ブルース・フォー・パット

プレーヤーは全員、長野市および周辺で仕事をもちつつ、ミュージシャンとしての活動を両立させている由。ベーシストの顔をもつのは誰あろう本通信の編集担当者。中田さんが静かな語り口調で「前回のわいがやサロン(山本克也長野市芸術館総支配人)の講演後の席で岩野座長とお隣になって、つい話した冗談からこういうことになってしまいました」と、今宵開催に至った経緯と1曲目のタイトル名「ブルース・フォー・パット」を紹介するとすぐさまメロディラインをサクスが奏で、それを追うようにベース、ドラムス、ギターが重なっていき、カルテットによるジャズ・ライブが幕開けしました。

ジャズに限らずライブはMC曲紹介がクール(喋りナシのいきなり演奏がむしろ格好イイ世界)ですが、「通信」のためライナーノーツ風に補足解説します(※印)。  
※「ブルース・フォー・パット」は「ジャズ史上、最も素晴らしいベース・プレーヤーの一人」とも形容されるチャーリー・ヘイデン(1937~2014)が名ギタリストのパット・メセニーに捧げた曲。

### アドリブ/枯葉~コンファメーション~マイ・リトル・スエードシューズ

一曲目が終わってメンバー紹介後、「次の曲はジャズと言えばコレでしょう」のMCで「枯葉」のイントロ・スタート、そして誰もが知るメロディが軽やかに奏でられ始めました。まるで枯葉が風で舞い散るさまをドラムスはシンバルと、通りの片隅で踊る枯葉を箒で掃くようにブラシでリズムを刻み、各楽器がアドリブ(即興演奏)ソロを繋げていきます。最近ではジャズから遠去かっているリスナーも「枯葉」のようなスタンダード曲だと、挟まれるアドリブが心地よく、再び知っているメロディに移るのも面白く、これぞジャズの楽しみ方なのかもしれません。終演後、客席から出演者にまず問うたのも各人が魅せてくれたアドリブとそのタイミ



## 早春のマンデレー・ジャズ・ナイト

ングについてでした。

※「枯葉」:ジョセフ・コズマが1945年に作曲した作品が原型のシャンソンが1950年代、マイルス・デイヴィスに取り上げられジャズの一大スタンダードに。  
「コンファメーション」:モダン・ジャズの開祖、チャーリー・パーカーが1946年に作曲。テンポが速く、音階広く、難曲として有名だが、AO VIVOの演奏には喰らえられました。  
「マイ・リトル・スエードシューズ」:同じくパーカーがラテンのリズムに魅せられて作った曲(1948)。各奏者の泣き(?)フレーズの連続に聴衆は拍手と歓声で応えました。

### グルーヴィー/いつか王子様が~イバネマの娘

「AO VIVOの歌姫、山極'おーじ'優子!」のMCで登場した女性は、学生時代のあだ名が「王子様」だったという山極さん。ゴスペルから音楽活動に入り、ボーカルのほか、フルートも演奏し、リーダー・竹内さんとのユニットTWO MOON等でも活動中とのこと。

フルメンバーが揃ったところで「いつか王子様が」スタート。「Some day my prince will come...」のお馴染みのフレーズと甘いメロディが会場を包みました。続いてボサノバの名曲中の名曲「イバネマの娘」をポルトガル語で軽快に。

MCおよび終演後の話では、メンバーは学生時代からそれぞれ楽器に親しみ、社会人になってもジャズを中心にバンド活動を続けてきたそうです。例えば、サクスの中川さんは長野市の老舗ビッグバンドHOT BLIZZARDの主要メンバーとして活躍。中田さんも長野市松代で40年近く続くビッグバンドの他、ドラムス・長谷川さんが企画した須坂市のビッグバンドでも演奏しています。そして皆が出会い意気投合したのが、今はなき長野市の老舗ジャズ喫茶「Jazz Square Groovy」でした。

※「いつか王子様が」:ディズニー映画『白雪姫』(1937)挿入歌。ジャズのスタンダードナンバーとして人気。  
「イバネマの娘」:ボサノバ創始者の一人、アントニオ・カルロス・ジョビンの作曲(1962)。ブラジル・リオ、イバネマ海岸のバーの前を毎日通る少女を歌った。

### AO VIVO/この素晴らしき世界

グループ名AO VIVOはポルトガル語。英語のLiveにあたり、音楽シーンで使う「ライブ」でもあり、「生きる」という意味でもある、と中田さんが命名。そんなグループの早春のナイト・ライブ、ラスト・ナンバーはサッチモの愛称で親しまれるジャズの王様ルイ・アームストロングが歌った「この素晴らしき世界」。山極さんは歌詞の「I hear babies cry, I watch them grow」が自身の仕事とも重なり、大好きとのこと。

※「この素晴らしき世界」:1967年、ベトナム戦争を嘆き、平和な世界の大切さをロバート・シールが作詞。サッチモが兵士を慰問し歌った。

### スウィング!/A列車で行こう~ALL OF ME

「アンコール!」の声に応じて始まったのは、スウィング・ジャズの黄金期を築いたデューク・エリントン楽団の「A列車で行こう」。さらに「アンコール、アンコール!」に応じて、「次もノリノリの曲。本日の最後は、去っていく人に、行ってしまふなら私の全てを持って行って!と歌う『ALL OF ME』です。♪♪♪♪♪ (拍手喝采)

※「A列車で行こう」:デューク・エリントン楽団のテーマ曲で、エラ・フィッツジェラルドとの競演でも知られる。A列車とはハーレム行き地下鉄のこと。  
「ALL OF ME」:ビリー・ホリデイ、エラ・フィッツジェラルド、サラ・ヴォーンなどが歌い、ボーカル曲としても人気のジャズの定番中の定番。

音楽はあくまで趣味だが、熱中し楽しむことが明日の仕事の活力になる——そんなAO VIVOの皆さんの演奏はアマチュアの域を超えていました。参加会員は音楽を体で感じ、愉悦の時間を送ったことと思います。わいがや懇親会では、またここでライブを聴きたい、リクエストは「フライミー トゥー ザ ムーン」、「スウィングしなけりゃ意味ないね」もぜひ!という声も聞こえました。

